



2020年3月期 第74期

# 決算説明

2019年7月30日発表

ペガサスマシン製造株式会社





*Stitching Together  
New Tomorrows*

**2020年3月期  
(第74期)  
第1四半期業績**

## 事業環境

- 米中貿易摩擦を主因とした世界経済の下振れリスク
- 各国の金融政策、為替の動向

### ◆工業用マシン事業

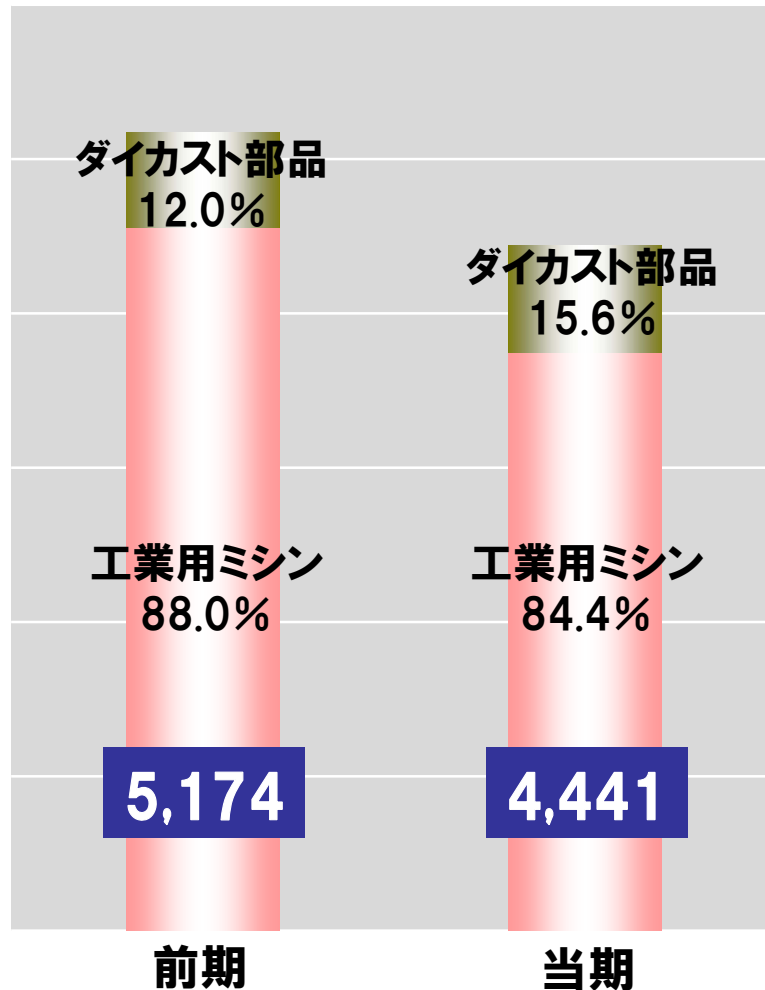
- 1 米中貿易交渉長期化による、生産地移管先の見極め
- 2 地政学的リスクによる投資マインドの低下

### ◆ダイカスト事業

- 1 新規受注の拡大
- 2 主要取引先の需要回復

**連結売上高** (百万円) ●前年同期比 ▲14.2%(732百万円)

(※百万円以下切り捨て)



事業別	当期実績	前期比	増減率
工業用ミシン	3,746	▲808	▲17.7%
ダイカスト	694	75	12.2%
連結合計	4,441	▲732	▲14.2%

前期比増減要因	前期比	為替の影響額	為替要因除外増減額
工業用ミシン	▲808	▲19	▲788
ダイカスト	75	▲11	87
連結合計	▲732	▲31	▲701

**<工業用ミシン>**

- 販売台数 前期比 ▲13.6%
- 販売単価 前期比 ▲4.9%
- 為替要因除外 前期比 ▲4.1%

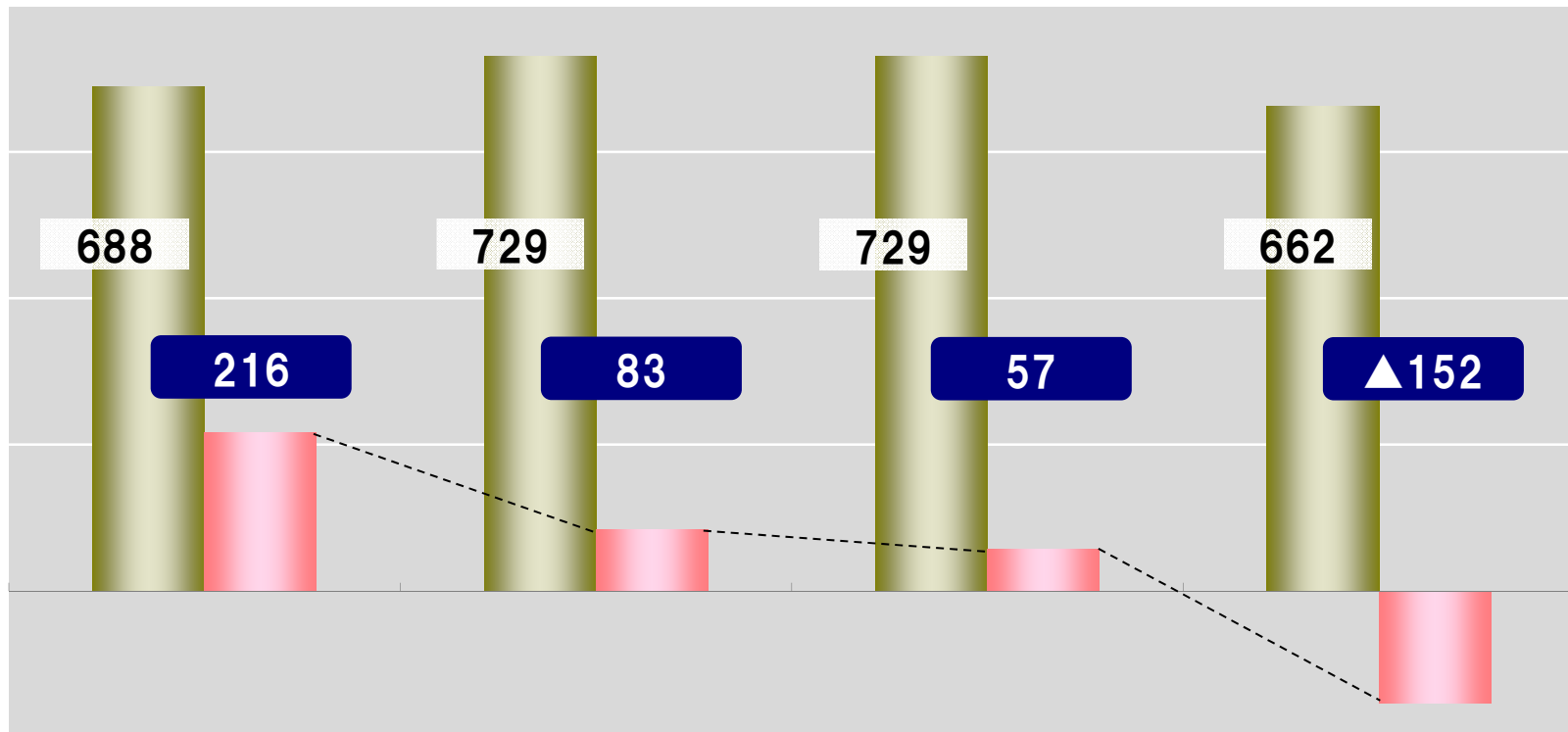
I-03

## 2020年3月期(第74期)第1四半期業績



連結営業利益

連結経常利益

税金等調整前  
当期純利益親会社株主に  
帰属する  
当期純利益

前期比

▲472 (▲68.6%)

▲646 (▲88.6%)

▲672 (▲92.2%)

▲815 (▲123.0%)

■ 前期

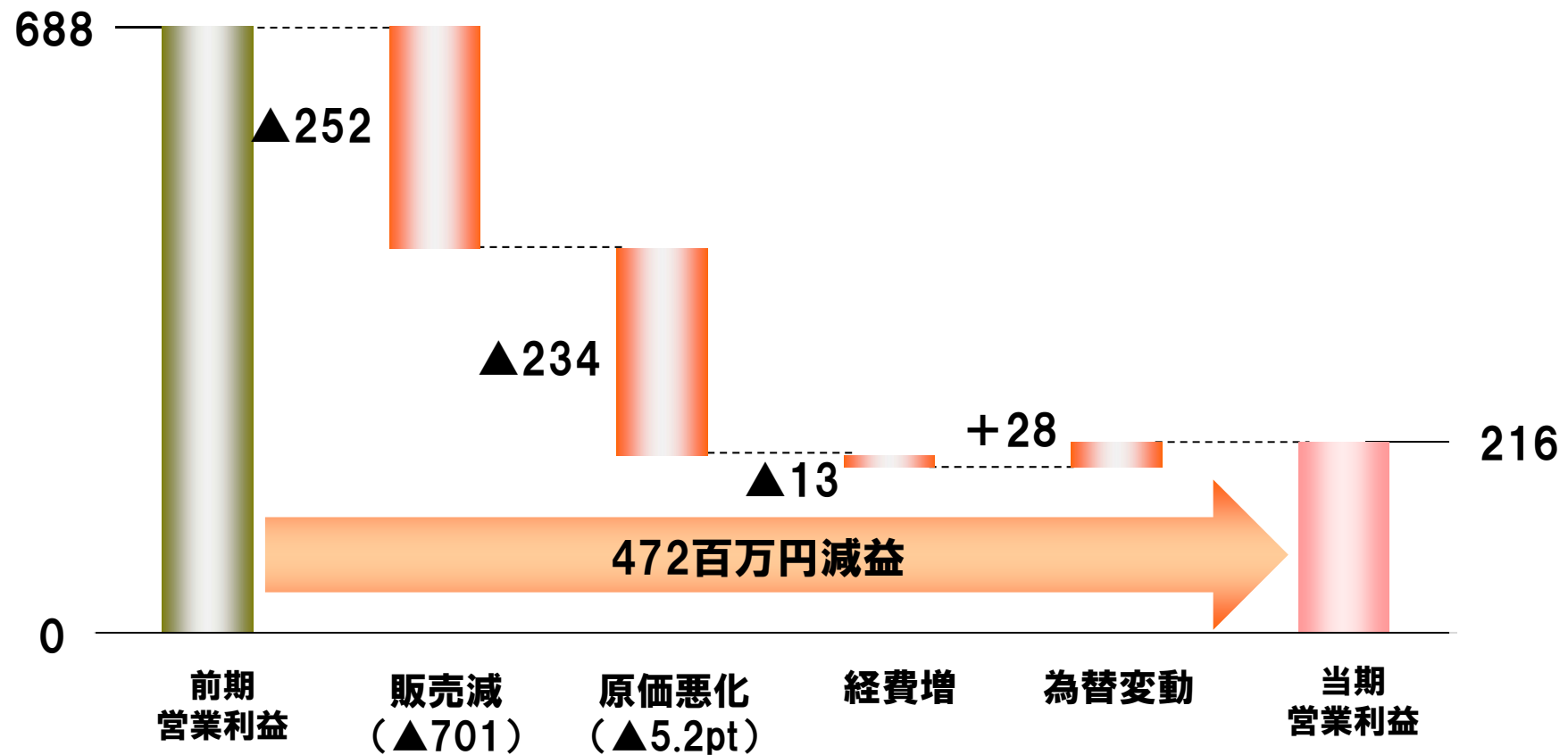
■ 当期

(※百万円以下切り捨て)

## 営業利益増減要因

(百万円)

(\*百万円以下切り捨て)



## ● 為替による影響 (連結業績ベース)

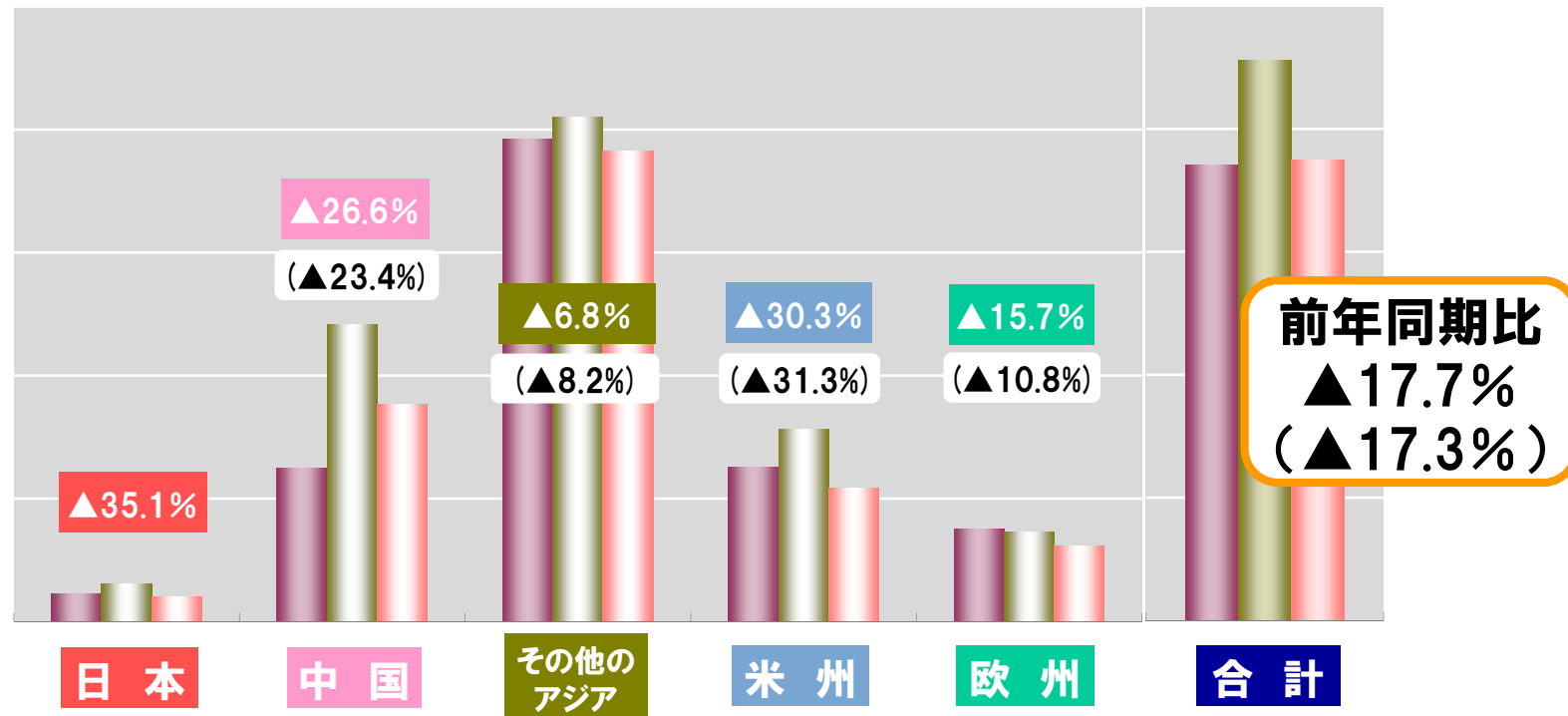
(※百万円以下切り捨て)  
(百万円)

通貨	JPY	USD	EUR	RMB	MXN	当期実績	為替要因 除外	前期実績	為替要因 除外 前期比
期中為替レート	—	¥110.48	¥125.72	¥16.38	¥5.72	—	—	—	—
前期為替レート	—	¥108.83	¥132.99	¥17.10	¥5.77	—	—	—	—
差額	—	¥1.65	▲¥7.27	▲¥0.72	▲¥0.05	—	—	—	—
売上高	99	2,650	306	1,165	218	4,441	4,472	5,174	▲701
比率	2.2%	59.7%	6.9%	26.3%	4.9%	100.0%	—	—	—
為替影響額	0	39	▲17	▲51	▲1	▲31	—	—	—
売上原価	721	687	21	1,400	211	3,042	3,096	3,310	▲214
比率	23.7%	22.6%	0.7%	46.0%	7.0%	100.0%	—	—	—
為替影響額	0	10	▲1	▲61	▲1	▲54	—	—	—
販売管理費	530	382	41	193	33	1,182	1,187	1,174	13
比率	44.9%	32.4%	3.5%	16.4%	2.9%	100.0%	—	—	—
為替影響額	0	5	▲2	▲8	▲0	▲5	—	—	—
営業利益	▲1,153	1,580	244	▲427	▲27	216	187	688	▲501
為替影響額	0	23	▲14	18	0	28	—	—	—
原価率						68.5%	69.2%	64.0%	

## 事業別所在地別セグメント売上高(百万円)

※グラフ( )内は為替要因除外の場合の前年同期比  
※百万円以下切り捨て

## 工業用マシン



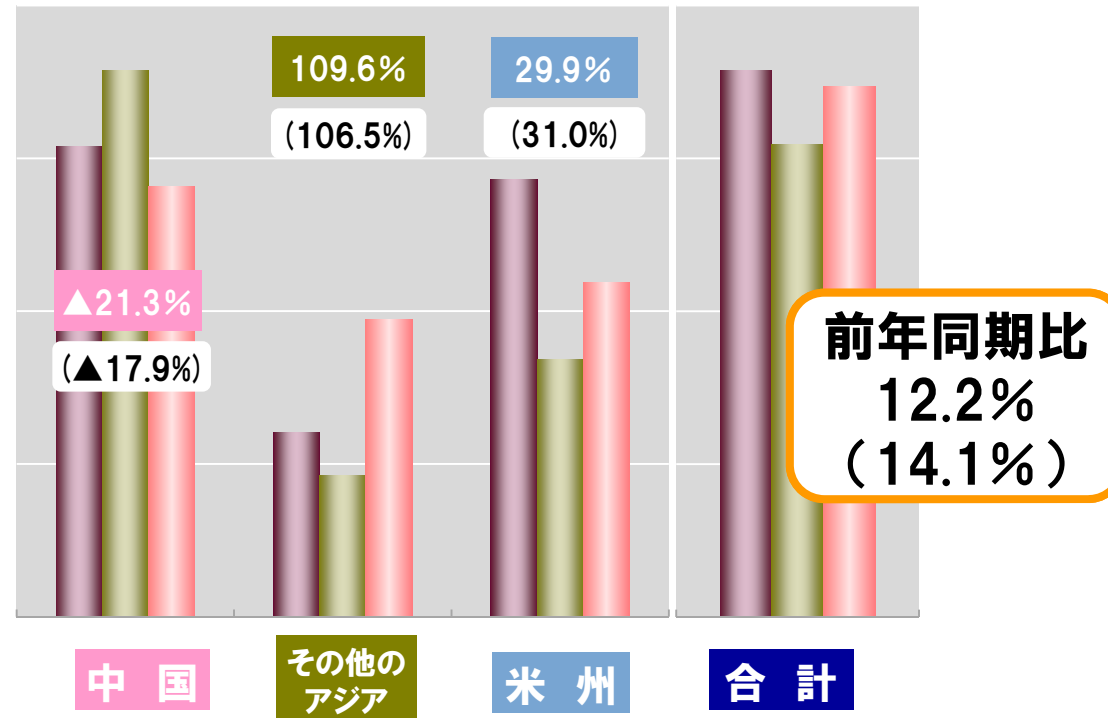
72-1Q	113	624	1,962	629	375	3,704
73-1Q	152	1,205	2,052	780	363	4,555
74-1Q	99	884	1,912	544	306	3,746



## 事業別所在地別セグメント売上高(百万円)

※グラフ( )内は為替要因除外の場合の前年同期比  
※百万円以下切り捨て

## ダイカスト



72-1Q	307	120	286	714
73-1Q	357	92	168	618
74-1Q	281	194	218	694

## 連結貸借対照表

(※百万円以下切り捨て)

## 資 産

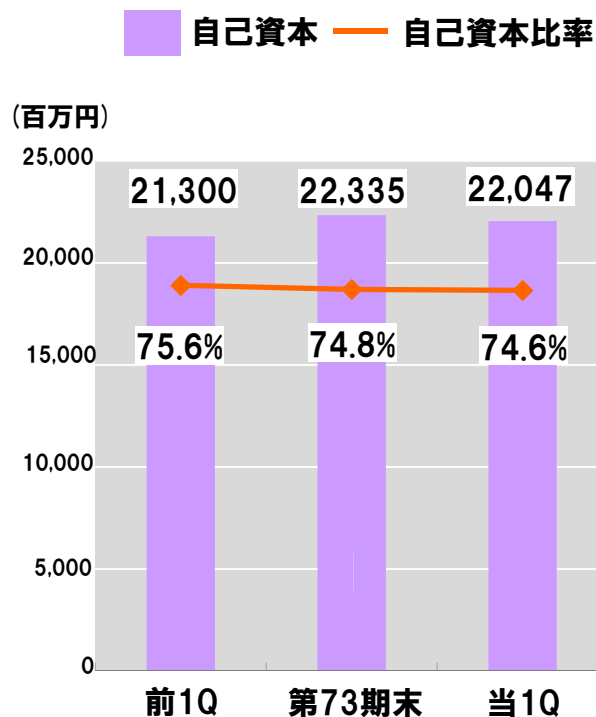
(百万円)	当期末	前期末比
資産合計	29,538	▲315
流動資産	20,467	▲611
現金及び預金	5,395	▲1,104
受取手形及び売掛金	4,678	▲16
棚卸資産	9,947	437
その他	446	72
固定資産	9,070	296
有形固定資産	8,018	480
建物	2,914	89
機械	1,970	107
使用権資産	446	446
建設仮勘定	1,566	▲156
その他	1,120	▲6
無形固定資産	560	▲0
投資その他の資産	490	▲183

## 負債・資本・純資産

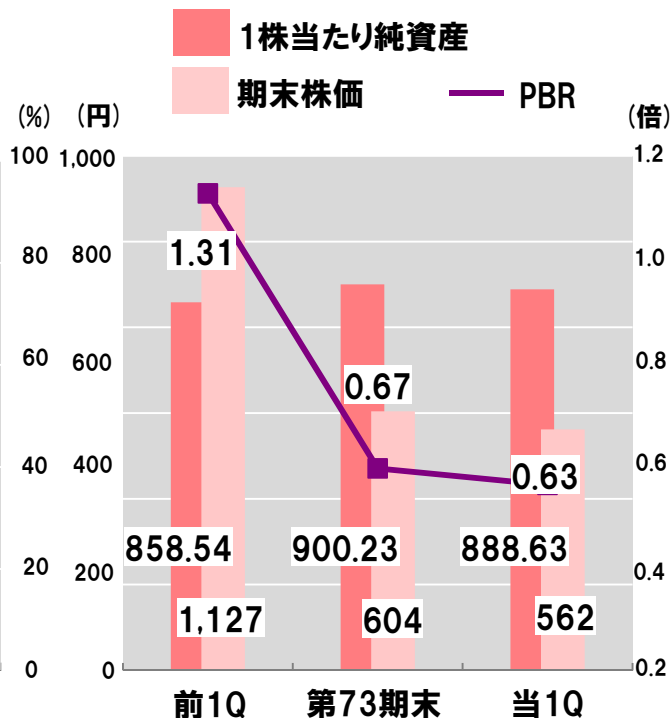
(百万円)	当期末	前期末比
負債合計	6,822	▲40
流動負債	4,213	▲324
支払手形及び買掛金	1,660	64
借入金及び社債	1,457	8
その他	1,095	▲397
固定負債	2,609	283
借入金及び社債	1,416	▲81
長期リース負債	379	379
純資産合計	22,715	▲274
株主資本	20,779	▲450
利益剰余金	15,546	▲450
その他の包括利益累計額	1,267	162
為替換算調整勘定	1,239	148
非支配株主持分	667	13

## 連結財政状況

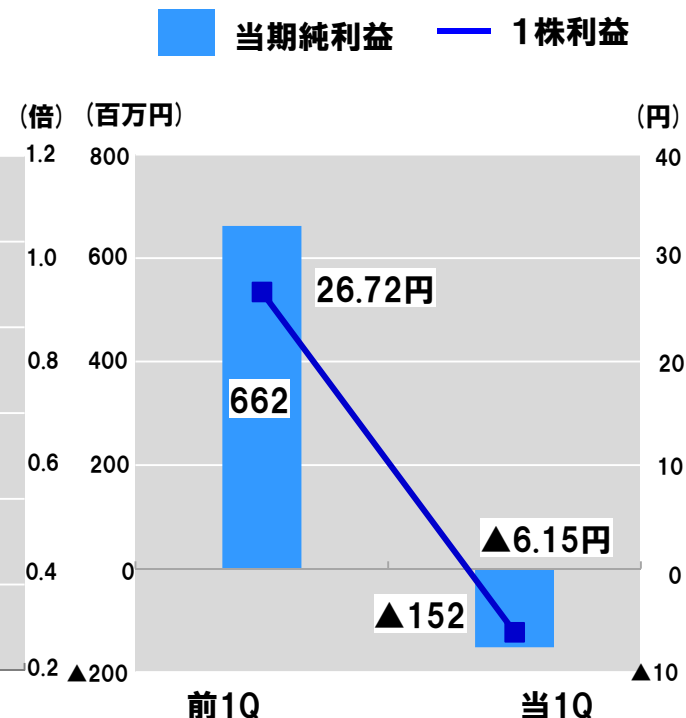
## 自己資本/自己資本比率



## 1株当り純資産/PBR



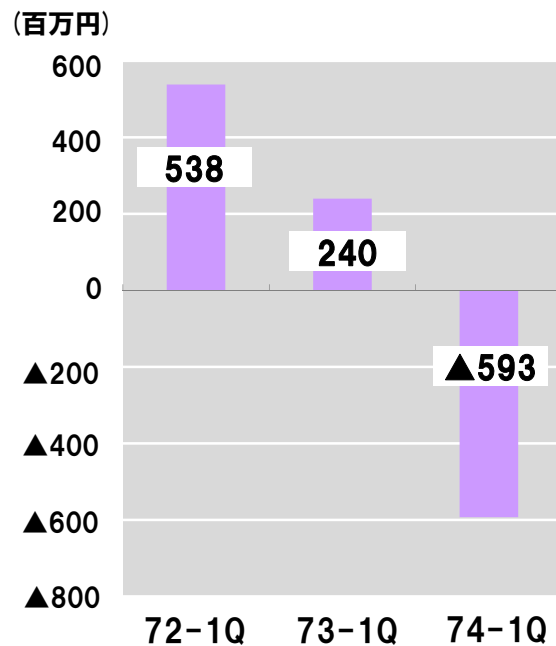
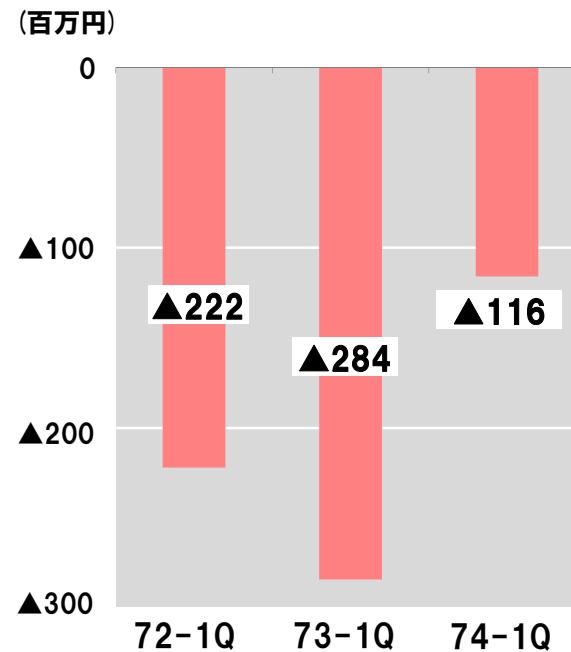
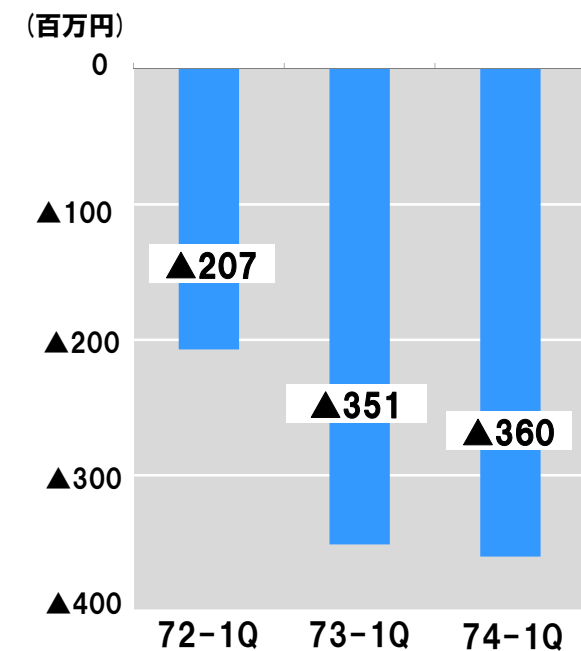
## 当期純利益/1株利益



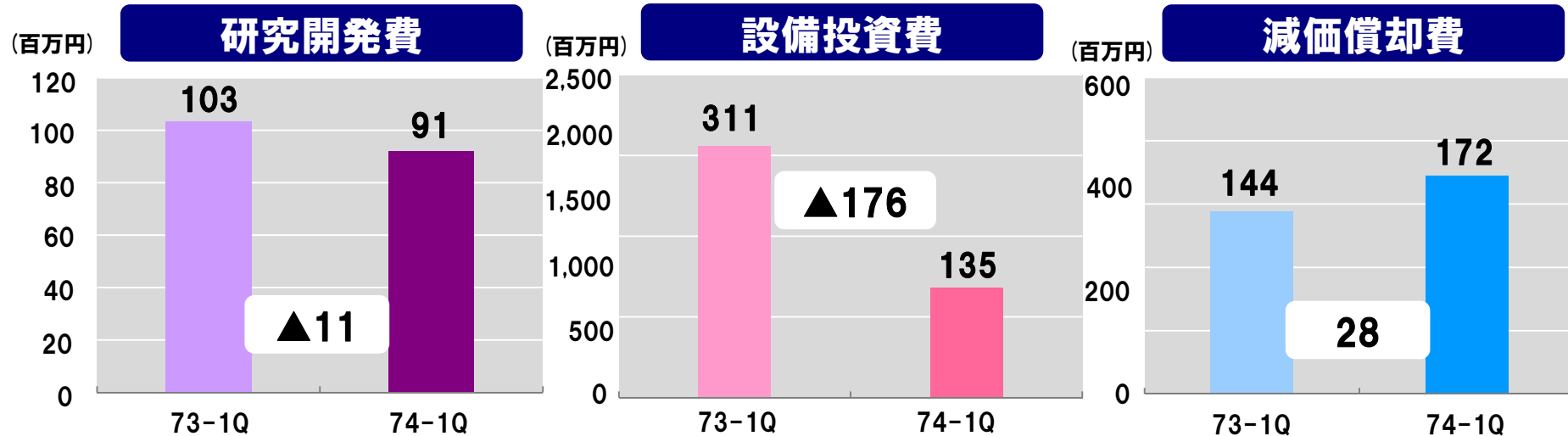
※当期純利益＝  
親会社株主に帰属する四半期純利益

**連結キャッシュフロー**

(※百万円以下切り捨て)

**営業活動CF**

**投資活動CF**

**財務活動CF**


(※百万円以下切り捨て)



### <主な設備投資状況>

会社名	内容	投資額(百万円)
ペガサス(天津)マシン有限公司	主に加工設備の新設等	26
天津ペガサス嶋本自動車部品有限公司	主に加工設備の新設等	48
PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD.	主に加工設備の新設等	35



*Stitching Together  
New Tomorrows*

# 会社概要

# III-01 会社概要

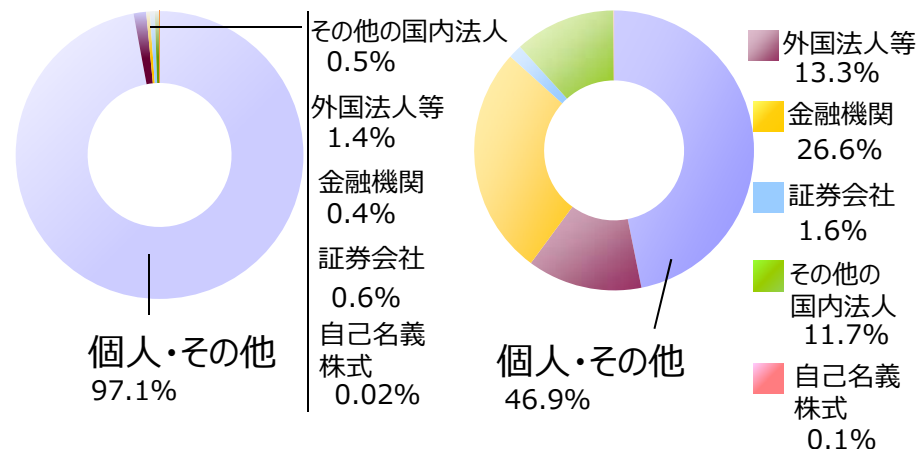


## ● 会社概要

会社名	ペガサスミシン製造株式会社
代表者	代表取締役社長執行役員 美馬成望
創業	1914年（大正3年）1月
所在地	大阪市福島区
資本金	22億5,555万円（平成31年3月末現在）
売上高	188億9,110万円（平成31年3月末現在）
従業員数	1,415名（連結平成31年3月末現在） 222名（単体平成31年3月末現在）
事業内容	工業用環縫いミシンおよび部品の製造・販売 自動車用安全ベルト関連部品の製造・販売

## ● 株主状況 平成31年3月末時点

◆所有者別比率(%) ◆所有者別持株数比率(%)



大株主の状況 平成31年3月末時点

氏名または名称	割合(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	10.4
2 株式会社美馬	6.3
3 NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	4.9
4 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3.6
5 株式会社三井住友銀行	3.4
6 板東敬三	3.0
7 吉田隆子	2.9
8 美馬成望	2.5
9 ペガサスミシン従業員持株会	2.0
10 美馬正道	1.9
計	40.7

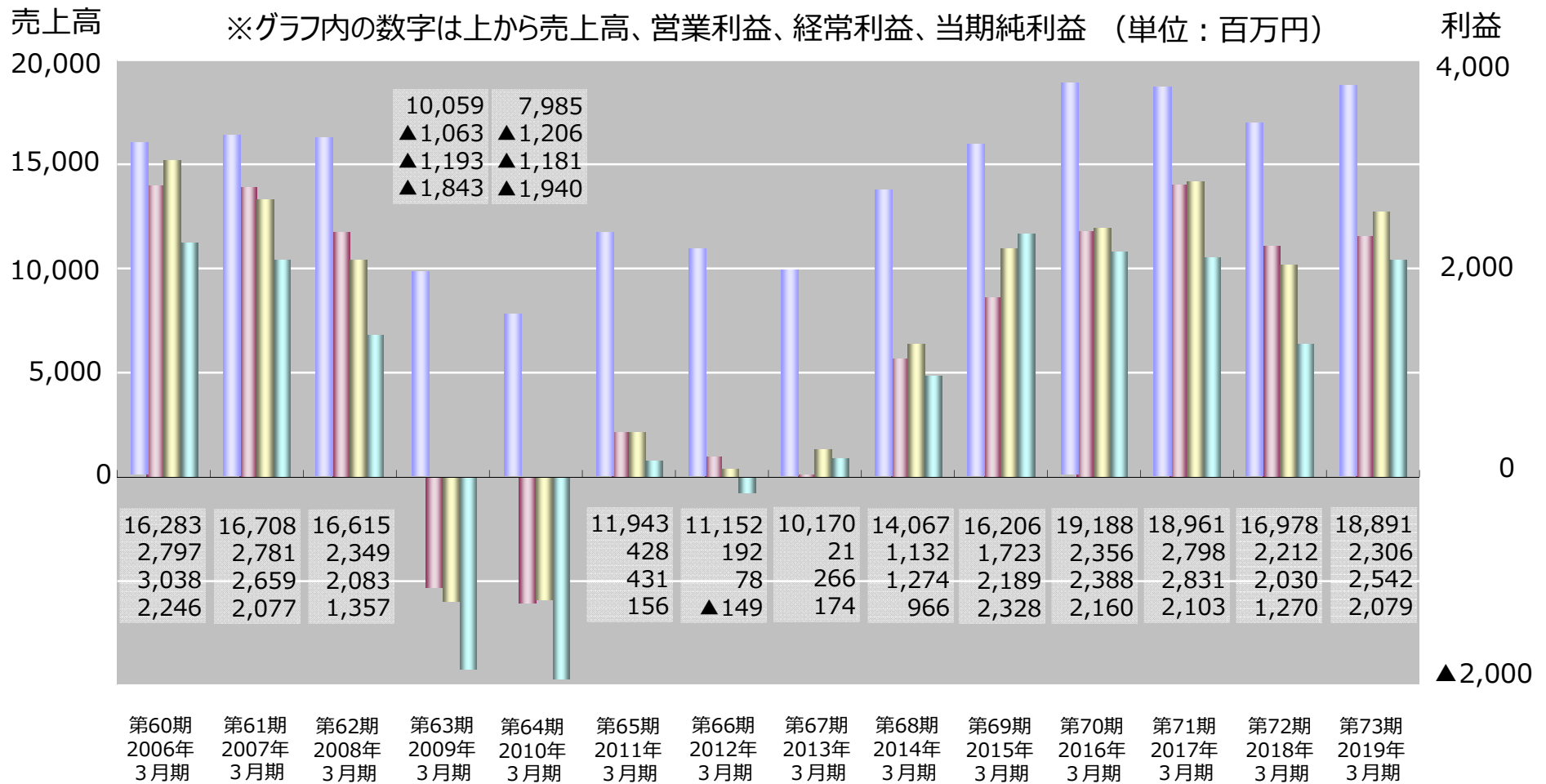
# III-02

## 会社概要



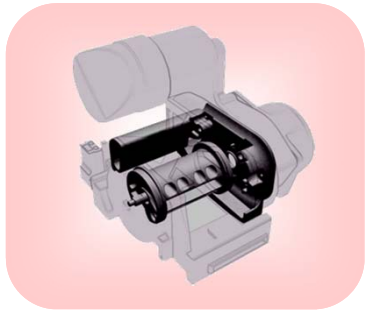
### 連結業績推移

■ 売上高 (左) 
 ■ 営業利益 (右) 
 ■ 経常利益 (右) 
 ■ 当期純利益 (右)



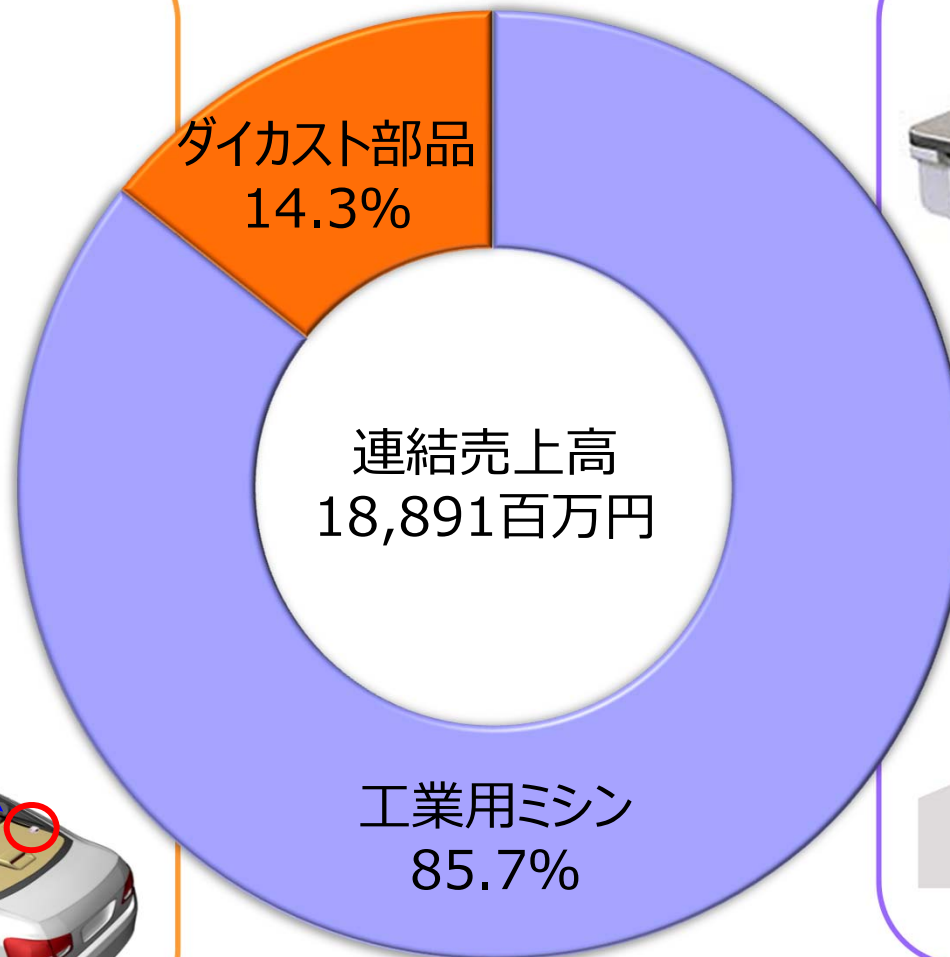
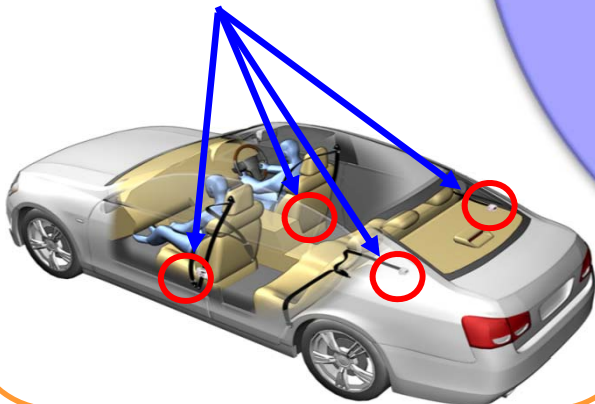


### III-03 事業内容



ダイカスト製品例イメージ図

ダイカスト製品  
使用部位例



新型オーバーロックマシン



新型フラットシーマー

※グラフ内の%は2019年3月期通期 売上高構成比率



## 企業理念

「人」と「技術」を通じて、  
よりよい製品・サービス・品質の  
提供に取り組み、社会の発展に  
貢献すること

## 経営基本方針

- 世界の人々と交流を深め、信頼される企業活動を展開します。
- ペガサス・テクノロジーを究め、世界品質のものづくりを目指します。
- 常にお客様から学び、ニーズを形にし、サービスや情報の提供に最善をつくします。
- 関係先、社員との信頼関係を築き、互いの成長発展のために努力します。



## ペガサスミシン製造株式会社

### 本資料お取扱上のご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点における入手可能な情報及び将来の経済環境の予想等に基づき作成しており、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。